

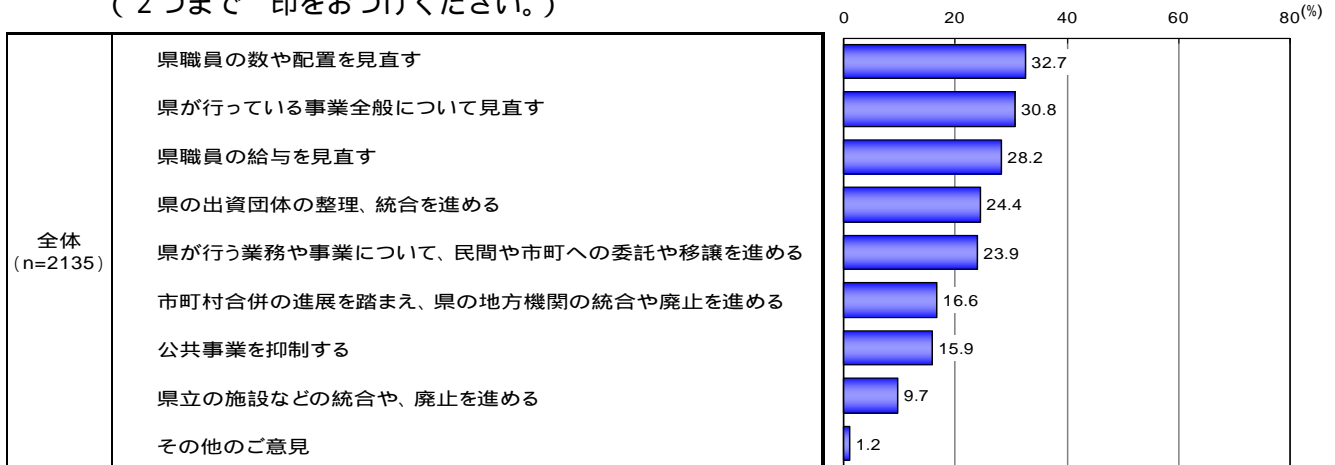
## 調査結果

### 第1 県の政策などについて

#### 1 行財政改革について

##### 県の行財政改革について（問1）

問1 あなたは、県が進めている行財政改革について、どれがもっとも重要だと思いますか？  
（2つまで 印をおつけください。）



「県職員の数や配置を見直す」が32.7%で最多。  
次いで、「県が行っている事業全般について見直す」(30.8%)、「県職員の給与を見直す」(28.2%)、「公共事業を抑制する」は15.9%。  
「県立の施設などの統合や、廃止を進める」が9.7%で最少。

【H15年度調査における上位3項目】

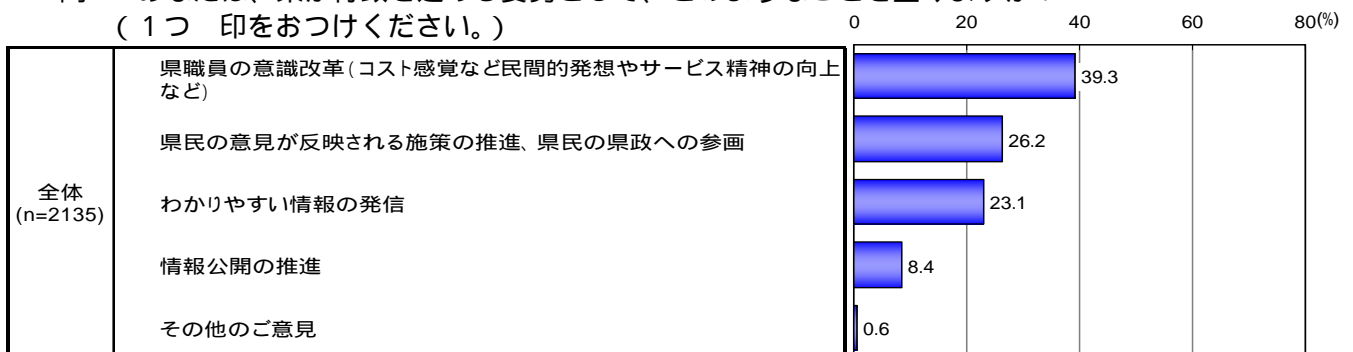
「県が行っている事業全般について見直す」(34.2%)

「県職員の数や配置を見直す」(20.2%)

「県職員の給与を見直す」(19.7%)

##### 県が行政を進める姿勢について（問2）

問2 あなたは、県が行政を進める姿勢として、どのようなことを望みますか？  
（1つ 印をおつけください。）



「県職員の意識改革」が39.3%で最多。  
次いで、「県民の意見が反映される施策の推進、県民の県政への参画」(26.2%)、「わかりやすい情報の発信」(23.1%)、「情報公開の推進」が8.4%で最少。

【H15年度調査における上位3項目】

「県職員の意識改革」(43.8%)

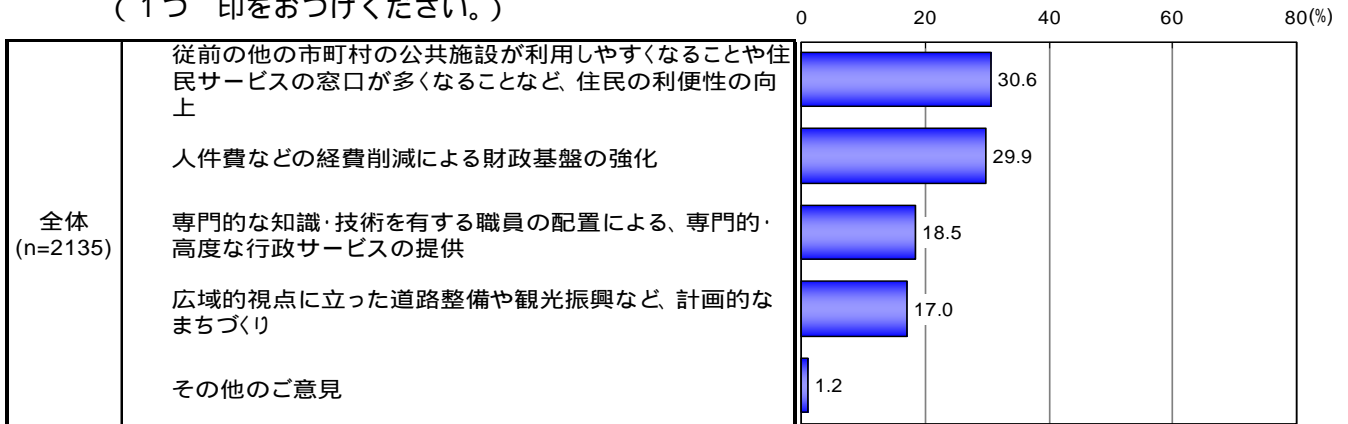
「県民の意見が反映される施策の推進、県民の県政への参画」(36.5%)

「情報公開の推進」(14.7%)

## 2 地方分権時代への対応について

### 市町村合併後の取り組みについて（問1）

問1 あなたは、合併後の市や町にどのようなことを望みますか？  
（1つ 印をおつけください。）



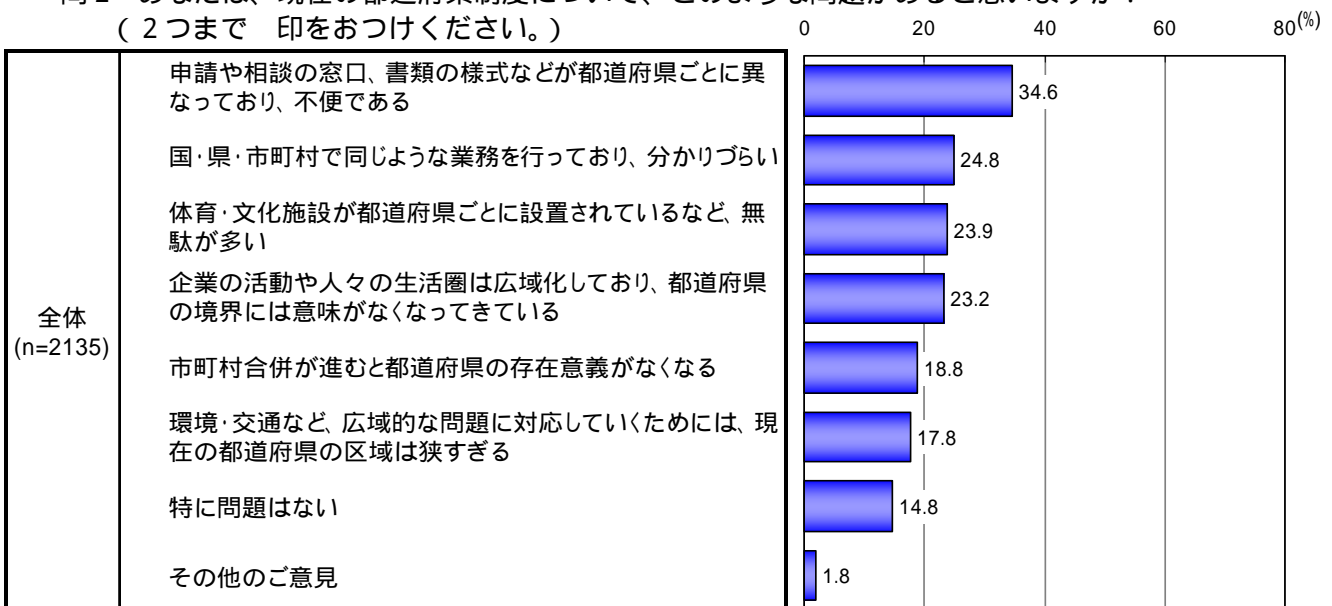
「従前の他の市町村の公共施設が利用しやすくなることや住民サービスの窓口が多くなることなど、住民の利便性の向上」が30.6%で最多。  
次いで、「人件費などの経費削減による財政基盤の強化」(29.9%)が拮抗。  
「広域的視点に立った道路整備や観光振興など、計画的なまちづくり」が17.0%で最少。

【H15年度調査における上位3項目】

「新しいまちづくりができる」(28.1%) 「財政の健全化が図られる」(26.8%)  
「市町村の権限が大きくなる」(14.6%)

### 都道府県制度について（問2）

問2 あなたは、現在の都道府県制度について、どのような問題があると思いますか？  
（2つまで 印をおつけください。）



「申請や相談の窓口、書類の様式などが都道府県ごとに異なっており、不便である」が34.6%で最多。  
次いで、「国・県・市町村で同じような業務を行っており、分かりづらい」(24.8%)、「体育・文化施設が都道府県ごとに設置されているなど、無駄が多い」(23.9%)。

【H15年度調査における上位項目】

(H15年度調査においては設問設定なし)

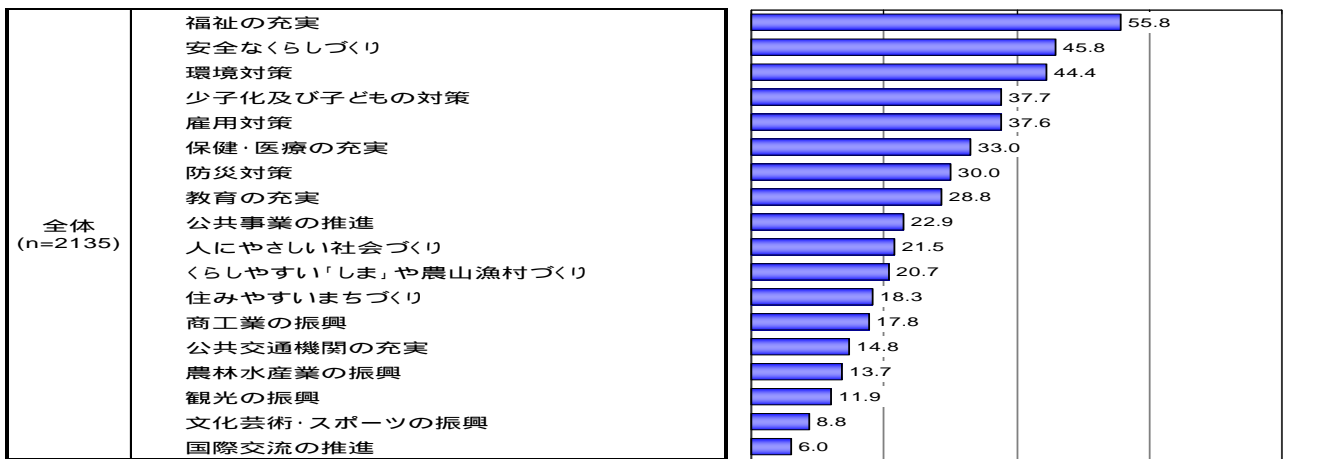
### 3 県の施策（事業）の進め方について

#### (1) 県の重点施策について

##### 今後県が力を入れていくべき分野について（問1）

問1 あなたは、今後、県がどのような分野に力を入れていくべきだと思いますか？

（5つまで 印をおつけください。）



「福祉の充実」が55.8%で最多。

次いで、「安全なくらしづくり」(45.8%)、「環境対策」(44.4%)、「少子化及び子どもの対策」(37.7%)、「雇用対策」(37.6%)

「国際交流の推進」が6.0%で最少。

【H15年度調査における上位5項目】

「環境対策」(50.9%) 「福祉の充実」(46.3%) 「雇用対策」(45.3%)  
 「安全な社会づくり」(40.9%) 「保健・医療の充実」(38.7%)

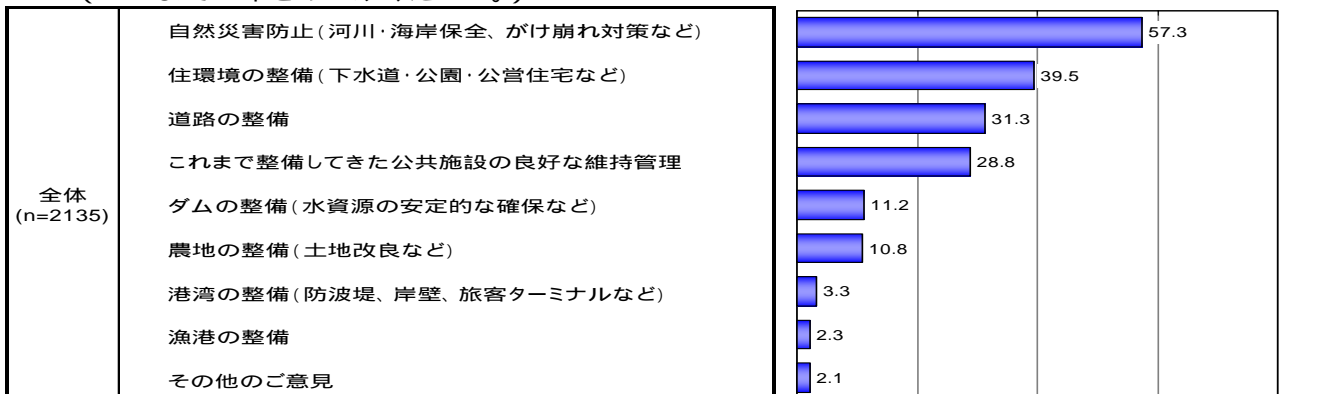
#### (2) 個別の施策（事業）について

##### 公共事業について（問1）

##### 問1- 公共事業全般について

あなたは、以下の公共事業の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



「自然災害防止（河川・海岸保全、がけ崩れ対策など）」が57.3%で最多。

次いで、「住環境の整備（下水道・公園・公営住宅など）」(39.5%)、「道路の整備」(31.3%)、「これまで整備してきた公共施設の良い維持管理」(28.8%)

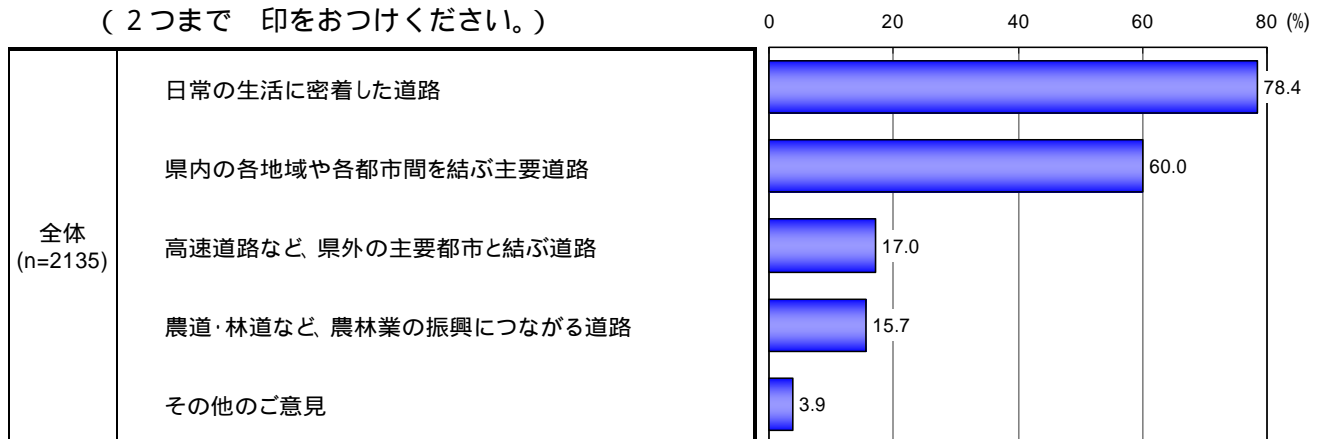
「ダムを整備」、「農地を整備」、「港湾の整備」、「漁港の整備」は、上位4項目との格差が大きい。

【H15年度調査における上位3項目】

「下水道・公園など、住環境の整備」(56.1%) 「自然災害防止（河川・海岸保全、地すべり対策など）」(49.5%) 「道路の整備」(38.6%)

## 問1- 道路の整備について

あなたは、今後どのような道路に力を入れていくべきだと思いますか？  
(2つまで 印をおつけください。)



「日常生活に密着した道路」が78.4%で最多。

次いで、「県内の各地域や各都市間を結ぶ主要道路」(60.0%)。

「高速道路など、県外の主要都市と結ぶ道路」、「農道・林道など、農林業の振興につながる道路」はいずれも20%未満。

【H15年度調査における上位3項目】

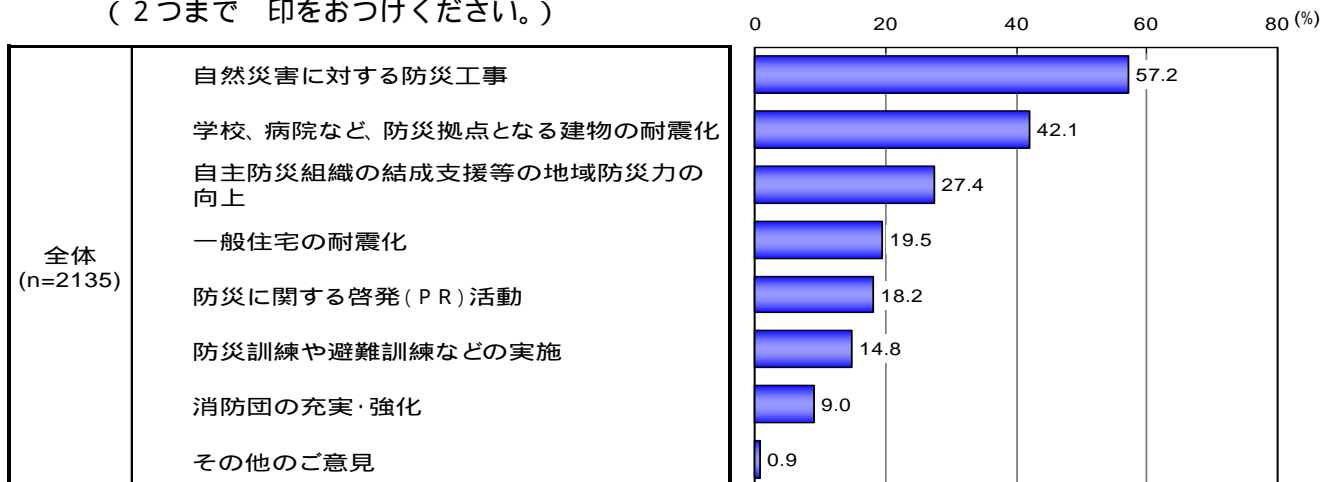
「日常生活に密着した道路」(78.4%)

「県内の各地域や各都市間を結ぶ主要道路」(62.2%)

「高速道路など、県外の主要都市と結ぶ道路」(16.5%)

## 防災対策について(問2)

問2 あなたは、地震対策を含む防災対策を充実させていくためには、以下の施策(事業)の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？  
(2つまで 印をおつけください。)



「自然災害に対する防災工事」が57.2%で最多。

次いで、「学校、病院など、防災拠点となる建物の耐震化」(42.1%)、「自主防災組織の結成支援等の地域防災力の向上」(27.4%)。

「消防団の充実・強化」が9.0%で最少。

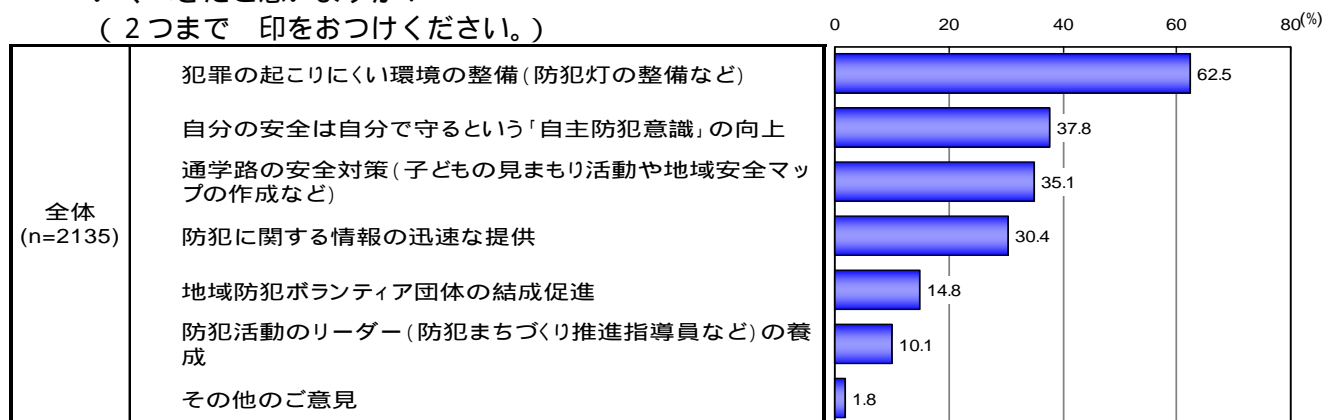
【H15年度調査における上位項目】

H15年度調査では、「安全な社会づくりについて」の設問の中で、「自然災害を防止するための公共事業」という選択肢を設けている(7選択肢中、4位)。

## 安全なくらしづくりについて（問3）

### 問3- 防犯などの安全対策について

あなたは、防犯などの安全対策のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？  
（2つまで 印をおつけください。）



「犯罪の起こりにくい環境の整備（防犯灯の整備など）」が62.5%で最多。  
次いで、「自分の安全は自分で守るという「自主防犯意識」の向上」（37.8%）、「通学路の安全対策（子どもの見まもり活動や地域安全マップの作成など）」（35.1%）。  
「防犯活動のリーダー（防犯まちづくり推進指導員など）の養成」が10.1%で最少。

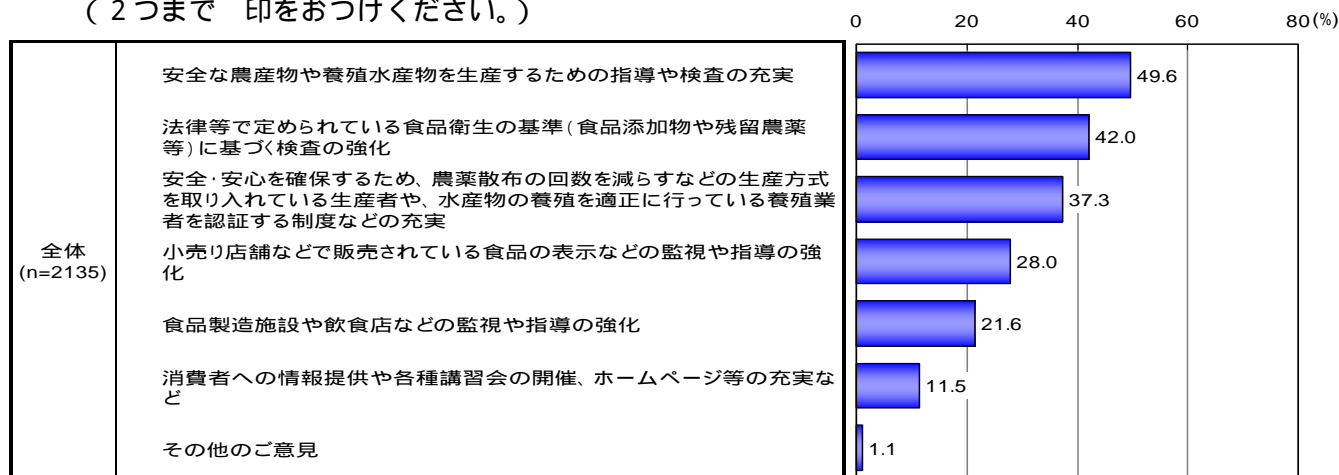
#### 【H15年度調査における上位2項目】

「犯罪対策（暴力団犯罪・外国人犯罪・ハイテク犯罪の防止など）の強化」（63.3%）

「住民と行政が一体となった安全な地域づくり活動の推進」（こども110番、防犯へのボランティア活動など）（39.5%）

### 問3- 食の安全・安心について

あなたは、食品の安全安心のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？  
（2つまで 印をおつけください。）



「安全な農産物や養殖水産物を生産するための指導や検査の充実」が49.6%で最多。  
次いで、「法律等で定められている食品衛生の基準（食品添加物や残留農薬等）に基づく検査の強化」（42.0%）、「安全・安心を確保するため、農薬散布の回数を減らすなどの生産方式を取り入れている生産者や、水産物の養殖を適正に行っている養殖業者を認証する制度などの充実」（37.3%）

#### 【H15年度調査における上位項目】

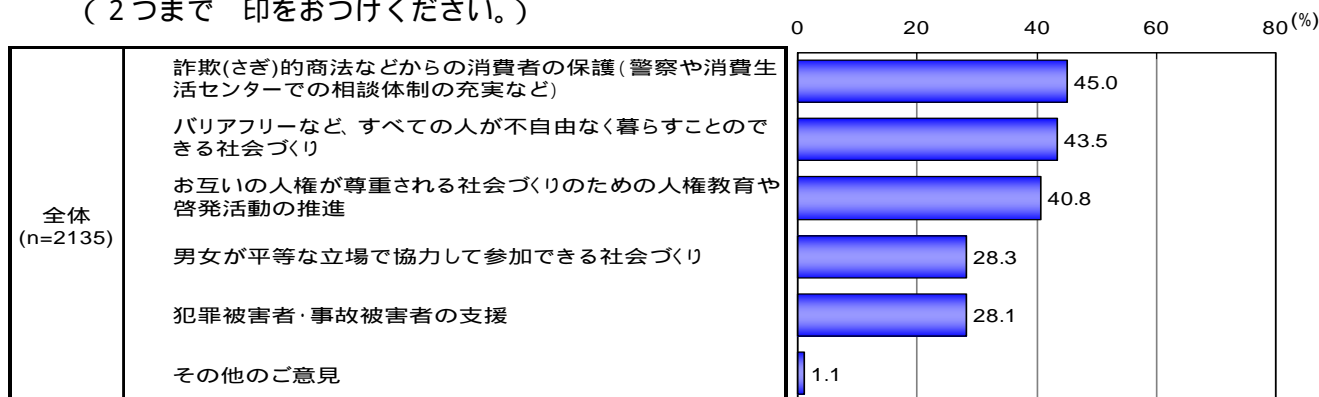
（H15年度調査においては質問趣旨が異なる）

## 人にやさしい社会づくりについて（問4）

### 問4- 人にやさしい社会づくりについて

あなたは、人にやさしい社会づくりのためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



「詐欺的商法などからの消費者の保護（警察や消費生活センターでの相談体制の充実など）」が45.0%で最多。

次いで、「バリアフリーなど、すべての人が不自由なく暮らすことのできる社会づくり」(43.5%)、「お互いの人権が尊重される社会づくりのための人権教育や啓発活動の推進」(40.8%)、上位3項目は拮抗。

#### 【H15年度調査における上位3項目】

「バリアフリーなど、すべての人が不自由なく暮らすことのできる社会づくり」(60.2%)

「男女が平等な立場で協力して参加できる社会づくり」(41.0%)

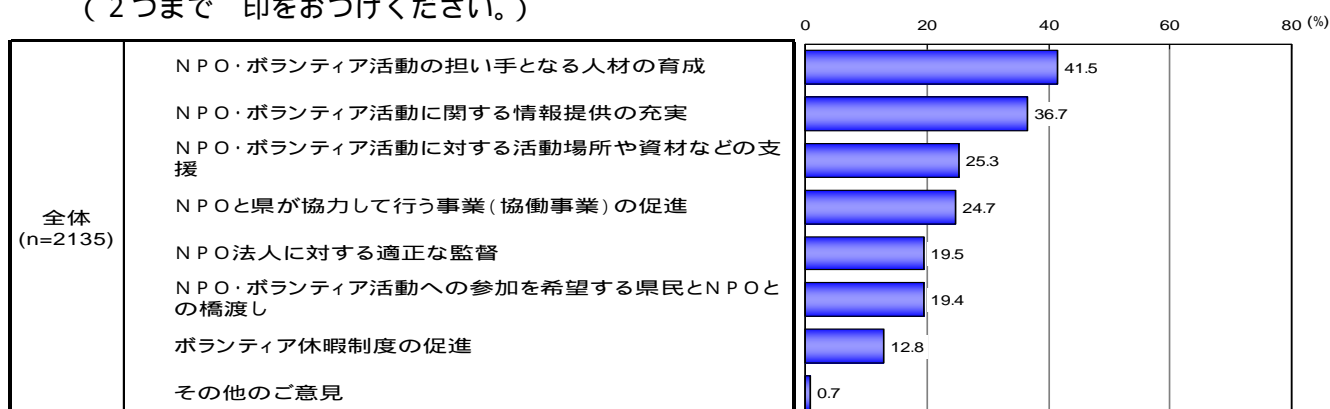
「犯罪被害者・事故被害者の支援」(37.3%)

H18年度調査で最多の「詐欺的商法などからの消費者の保護」は、H15年度調査では「安全な社会づくり」の設問の中で選択肢を設けている（7選択肢中、3位）。

### 問4- NPO・ボランティア活動について

あなたは、今後、NPO・ボランティア活動が一層活発になるためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



「NPO・ボランティア活動の担い手となる人材の育成」が41.5%で最多。

次いで、「NPO・ボランティア活動に関する情報提供の充実」(36.7%)、「NPO・ボランティア活動に対する活動場所や資材などの支援」(25.3%)

「ボランティア休暇制度の促進」が12.8%で最少。

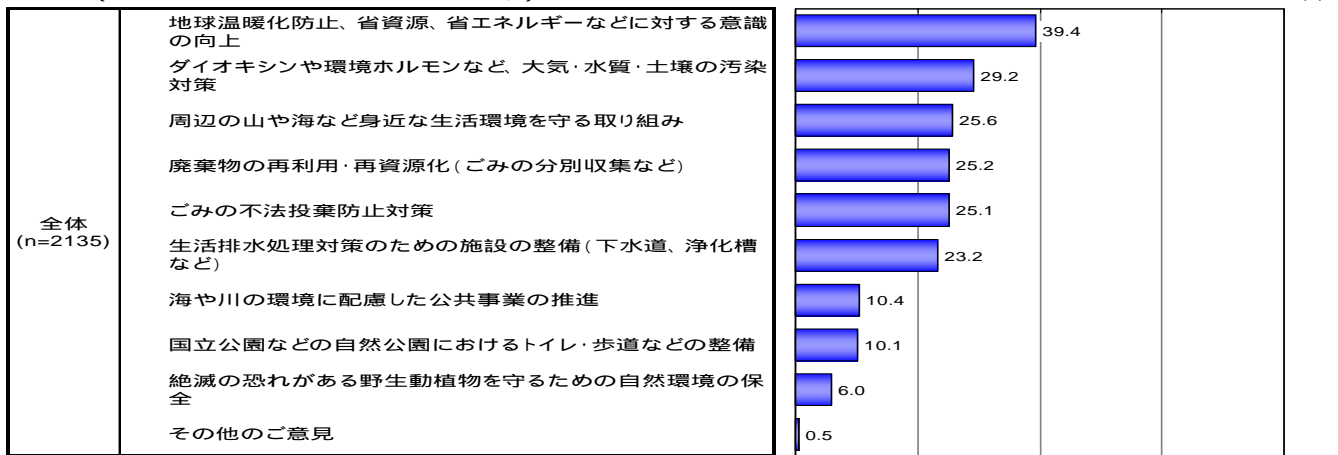
#### 【H15年度調査における上位項目】

(H15年度調査においては設問設定なし)



## 環境対策について（問5）

問5 あなたは、今後、環境にやさしい長崎県の実現のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？  
（2つまで 印をおつけください。）



「地球温暖化防止、省資源、省エネルギーなどに対する意識の向上」が39.4%で最多。  
次いで、「ダイオキシンや環境ホルモンなど、大気・水質・土壌の汚染対策」(29.2%)、  
3位以下、「周辺の山や海など身近な生活環境を守る取り組み」(25.6%)、「廃棄物の再利用・再資源化(ごみの分別収集など)」(25.2%)、「ごみの不法投棄防止対策」(25.1%)、「生活排水処理対策のための施設の整備(下水道、浄化槽など)」(23.2%)は拮抗。  
「絶滅の恐れがある野生動植物を守るための自然環境の保全」が6.0%で最少。

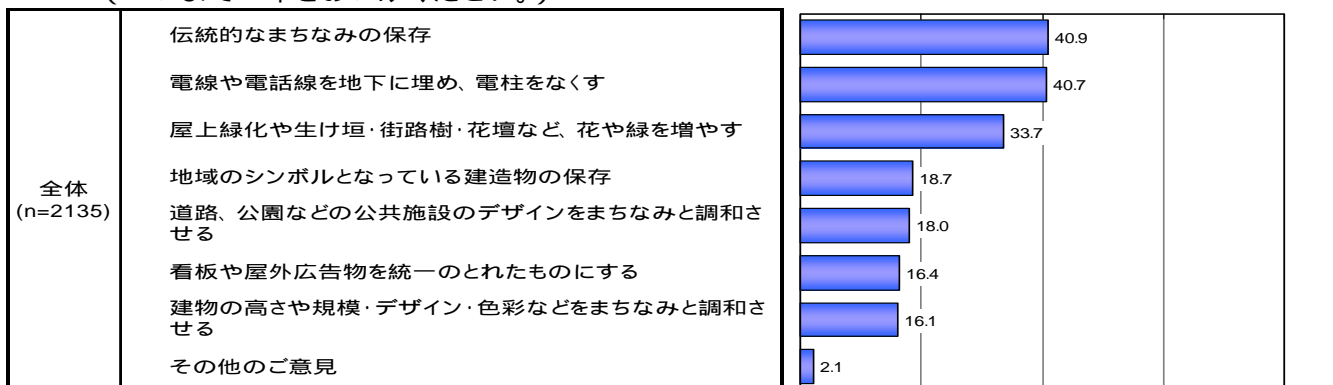
### 【H15年度調査における上位3項目】

- 「地球温暖化防止、省資源、省エネルギーなどに対する意識の向上」(40.6%)
- 「ダイオキシンや環境ホルモンなど、大気・水質・土壌の汚染対策」(34.7%)
- 「廃棄物の再利用・再資源化(ごみの分別・収集など)」(30.9%)

## 住みやすいまちづくりについて（問6）

### 問6- まちづくり施策について

あなたは、まちの景観を美しくするためには、どのような取り組みが重要だと思いますか？  
（2つまで 印をおつけください。）



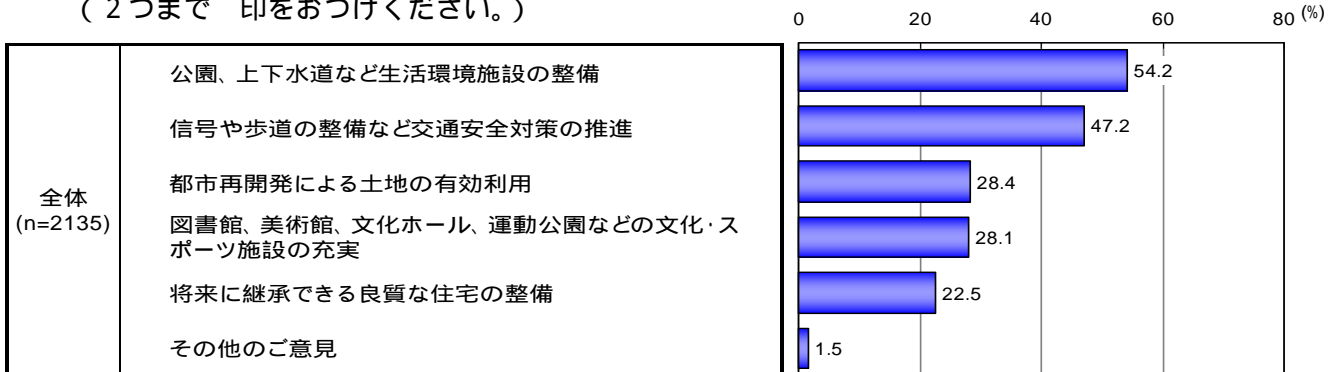
「伝統的なまちなみの保存」が40.9%で最多。  
次いで、「電線や電話線を地下に埋め、電柱をなくす」(40.7%)は拮抗。  
「屋上緑化や生け垣・街路樹・花壇など、花や緑を増やす」(33.7%)に次いで、4位以下は18~16%で拮抗。

### 【H15年度調査における上位項目】

(H15年度調査においては設問設定なし)

## 問6- 住環境整備について

あなたは、住みやすい環境にするには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？  
（2つまで 印をおつけください。）



「公園、上下水道など生活環境施設の整備」が54.2%で最多。  
次いで、「信号や歩道の整備など交通安全対策の推進」（47.2%）、「都市再開発による土地の有効利用」（28.4%）。  
「将来に継承できる良質な住宅の整備」が22.5%で最少。

### 【H15年度調査における上位3項目】

（H15年度調査では設問と選択肢が異なっている）

「公園、上下水道など生活環境施設の整備」（41.9%）

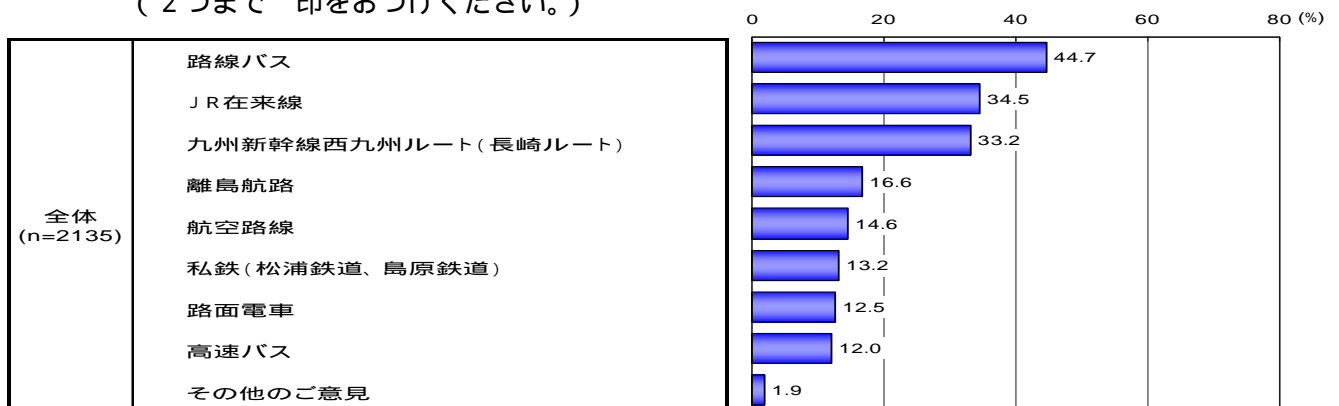
「図書館、美術館、文化ホール、運動公園など文化・スポーツ施設の充実」（29.8%）

「都市再開発による土地の有効利用」（12.8%）

「信号や歩道の整備など交通安全対策の推進」は、H15年度調査では選択肢なし。

## 公共交通機関の充実について（問7）

問7 あなたは、今後、住みよい郷土づくりや本県の振興のために、どの公共交通機関の充実に力を入れてほしいと思いますか？  
（2つまで 印をおつけください。）



「路線バス」が44.7%で最多。  
次いで、「JR在来線」（34.5%）、「九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）」（33.2%）。  
「高速バス」が12.0%で最少。

### 【H15年度調査における上位3項目】

「バス、路面電車」（44.9%）

「九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）」（40.4%）

「JR在来線・私鉄の増便など」（30.5%）

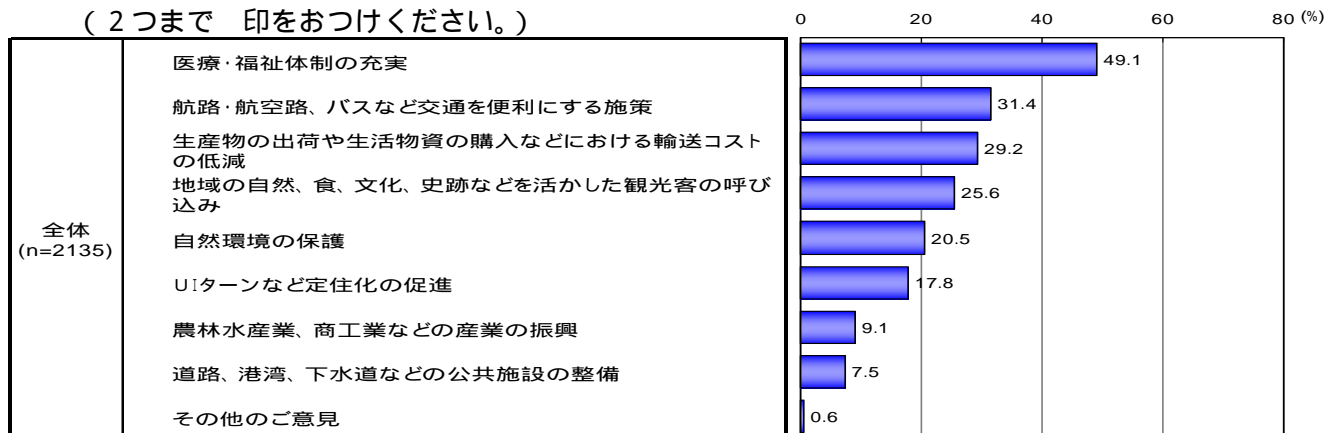
H18年度調査では、「バス」と「路面電車」、「JR在来線」と「私鉄」に分けて選択肢を増やしている。



## くらしやすい「しま」や農山漁村づくりについて（問8）

### 問8- しまへの施策について

あなたは、今後、離島地域を暮らしやすくするためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？  
（2つまで 印をおつけください。）



「医療・福祉体制の充実」が49.1%で最多。

次いで、「航路・航空路、バスなど交通を便利にする施策」(31.4%)、「生産物の出荷や生活物資の購入などにおける輸送コストの低減」(29.2%)

「道路、港湾、下水道などの公共施設の整備」が7.5%で最少。

#### 【H15年度調査における上位3項目】

「自然環境の保護」(37.6%)

「地域の自然、食、文化、史跡などを活かした観光客の呼び込み」(37.4%)

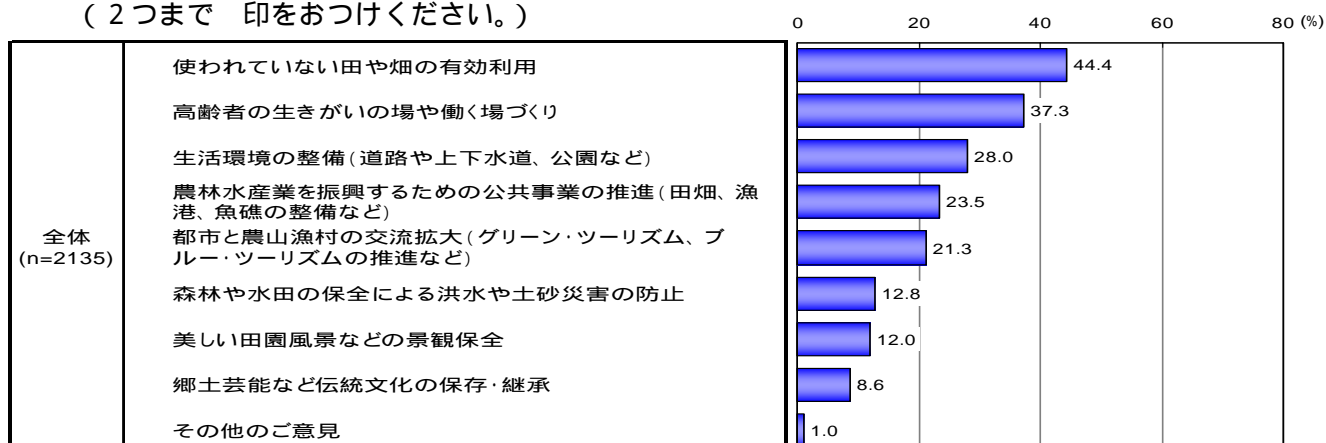
「高い輸送コストの低減（産物の出荷や生活物資の購入などにかかる輸送のためのコスト）」(30.4%)

H18年度調査で最多の「医療・福祉体制の充実」は、H15年度調査では設けていない。

H15年度調査では、「しま」だけでなく、「しまと農村漁村」という設問を設けている。

### 問8- 農山漁村への施策について

あなたは、今後、農山漁村を暮らしやすくするためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？  
（2つまで 印をおつけください。）



「使われていない田や畑の有効利用」が44.4%で最多。

次いで、「高齢者の生きがいの場や働く場づくり」(37.3%)、「生活環境の整備（道路や上下水道、公園など）」(28.0%)

「郷土芸能など伝統文化の保存・継承」が8.6%で最少。

#### 【H15年度調査における上位項目】

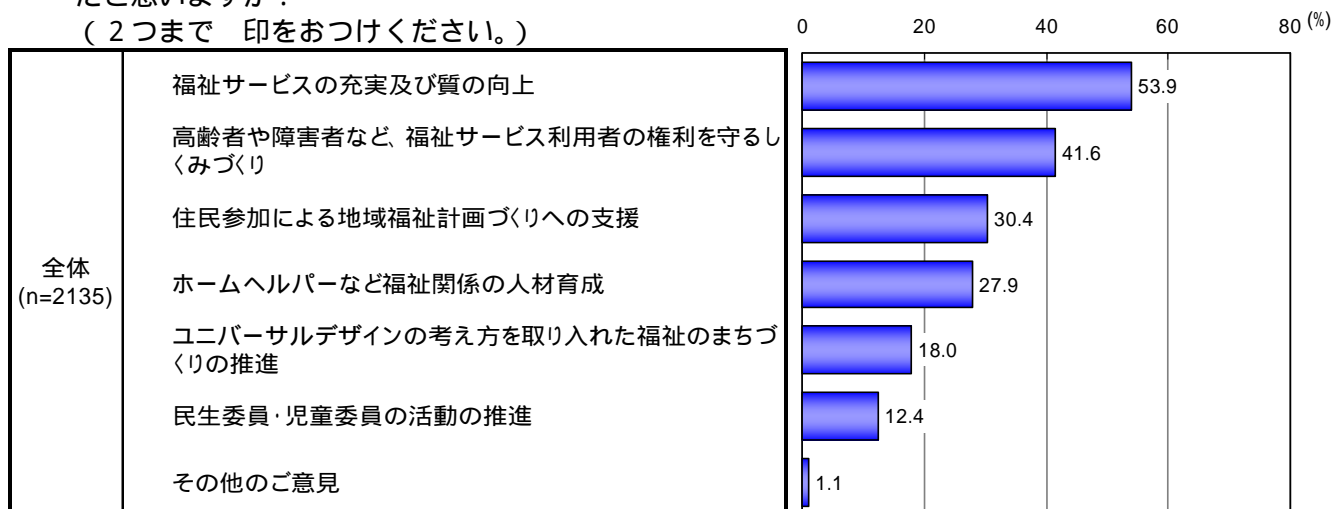
（H15年度調査においては設問設定なし）

## 福祉の充実について（問9）

### 問9- 福祉全般について

あなたは、地域福祉の充実のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



「福祉サービスの充実及び質の向上」が53.9%で最多。

次いで、「高齢者や障害者など、福祉サービス利用者の権利を守るしくみづくり」(41.6%)、「住民参加による地域福祉計画づくりへの支援」(30.4%)。

「民生委員・児童委員の活動の推進」が12.4%で最少。

#### 【H15年度調査における上位3項目】

（H15年度調査においては質問趣旨が異なる）

「高齢者や障害者が、地域の中で共に暮らすことのできる機会や施設の充実」(52.4%)

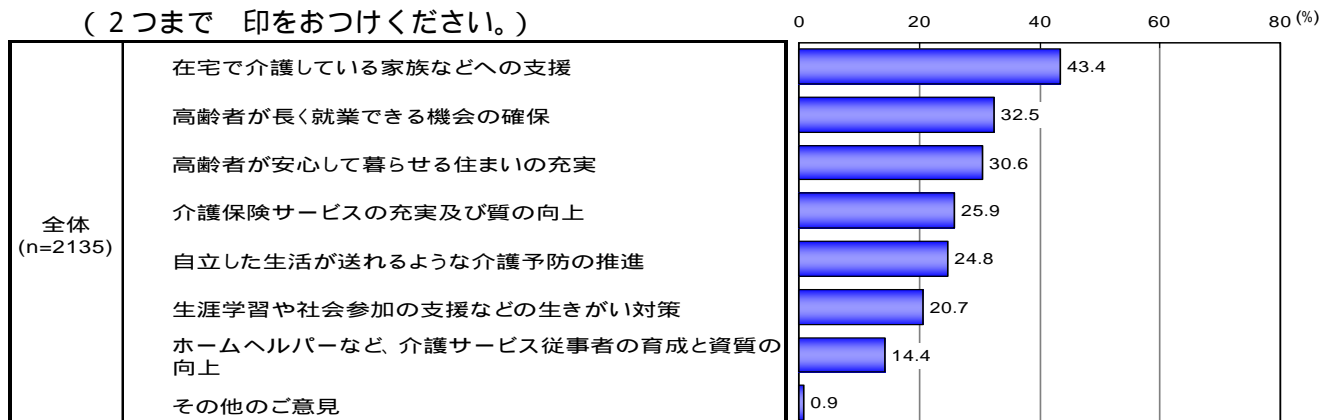
「在宅で介護している家族などへの支援」(49.2%)

「介護保険サービスや障害者に対する福祉サービスの充実」(39.1%)

### 問9- 介護サービスなどの高齢者対策について

あなたは、今後の高齢者対策について、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



「在宅で介護している家族などへの支援」が43.4%で最多。

次いで、「高齢者が長く就業できる機会の確保」(32.5%)、「高齢者が安心して暮らせる住まいの充実」(30.6%)。

「ホームヘルパーなど、介護サービス従事者の育成と資質の向上」が14.4%で最少。

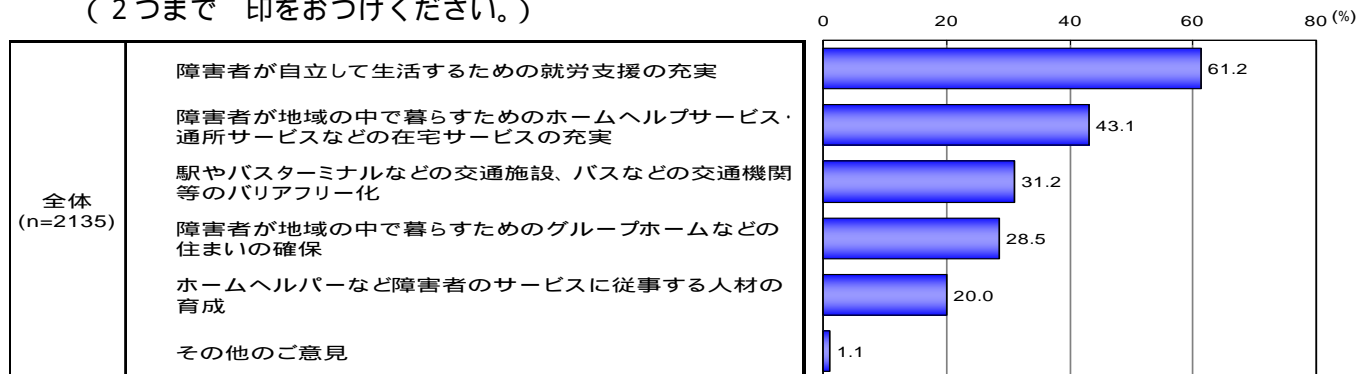
#### 【H15年度調査における上位項目】

（H15年度調査においては設問設定なし）

## 問9- 障害者（児）対策について

あなたは、今後、障害者の福祉の充実のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



「障害者が自立して生活するための就労支援の充実」が61.2%で最多。  
 次いで、「障害者が地域の中で暮らすためのホームヘルプサービス・通所サービスなどの在宅サービスの充実」(43.1%)、「駅やバスターミナルなどの交通施設、バスなどの交通機関等のバリアフリー化」(31.2%)、「ホームヘルパーなど障害者のサービスに従事する人材の育成」が20.0%で最少。

【H15年度調査における上位項目】

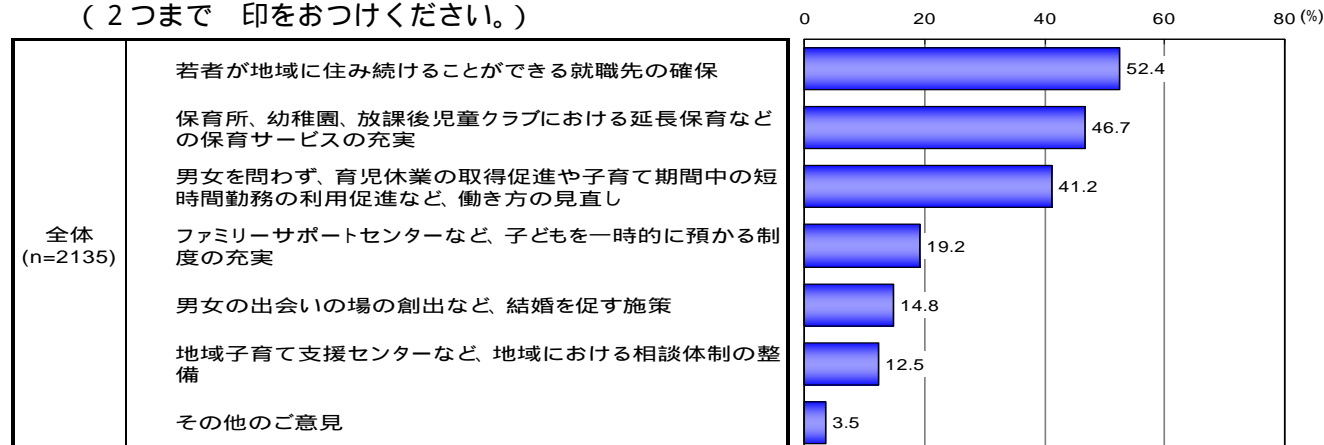
(H15年度調査においては設問設定なし)

## 少子化及び子どもの対策について（問10）

### 問10- 少子化対策（子育て支援等）について

あなたは、今後、少子化対策（子育て支援等）のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



「若者が地域に住み続けることができる就職先の確保」が52.4%で最多。  
 次いで、「保育所、幼稚園、放課後児童クラブにおける延長保育などの保育サービスの充実」(46.7%)、「男女を問わず、育児休業の取得促進や子育て期間中の短時間勤務の利用促進など、働き方の見直し」(41.2%)、「地域子育て支援センターなど、地域における相談体制の整備」が12.5%で最少。

【H15年度調査における上位3項目】

「保育所の充実（受け入れ対象児の拡大、延長保育の推進など）」(45.0%)

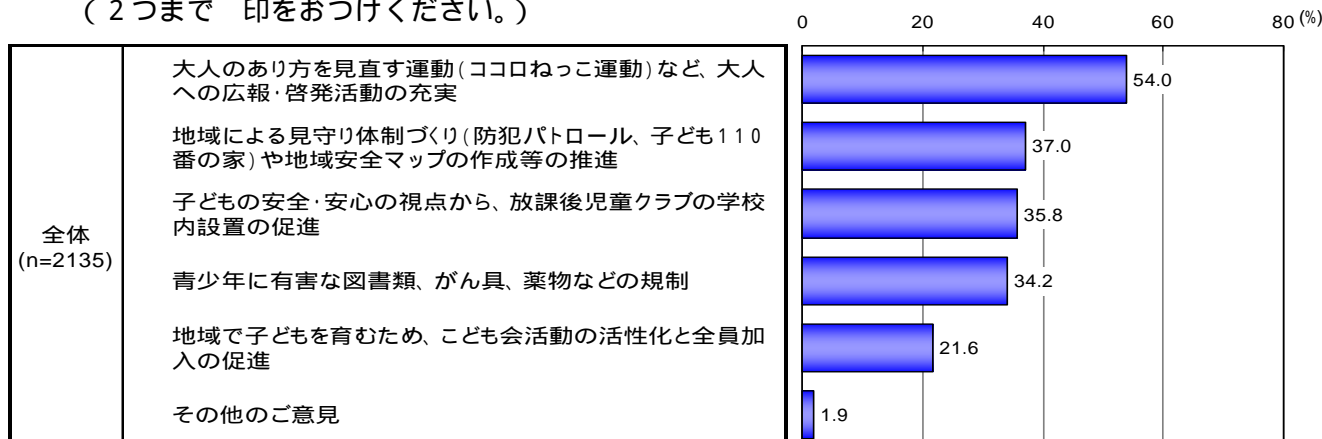
「子育ての悩みに対する相談・支援体制の充実」(40.5%)

「地域ぐるみで子育てを応援する体制づくり（育児サークル支援など）」(38.1%)

H18年度調査で最多の「若者が地域に住み続けることの出来る就職先の確保」については、H15年度調査では設けていない。

## 問 10- 子どもの健全育成・安全などについて

あなたは、今後、子どもの健全育成や安全のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？  
（2つまで 印をおつけください。）



「大人のあり方を見直す運動（ココロねっこ運動）など、大人への広報・啓発活動の充実」が 54.0%で最多。

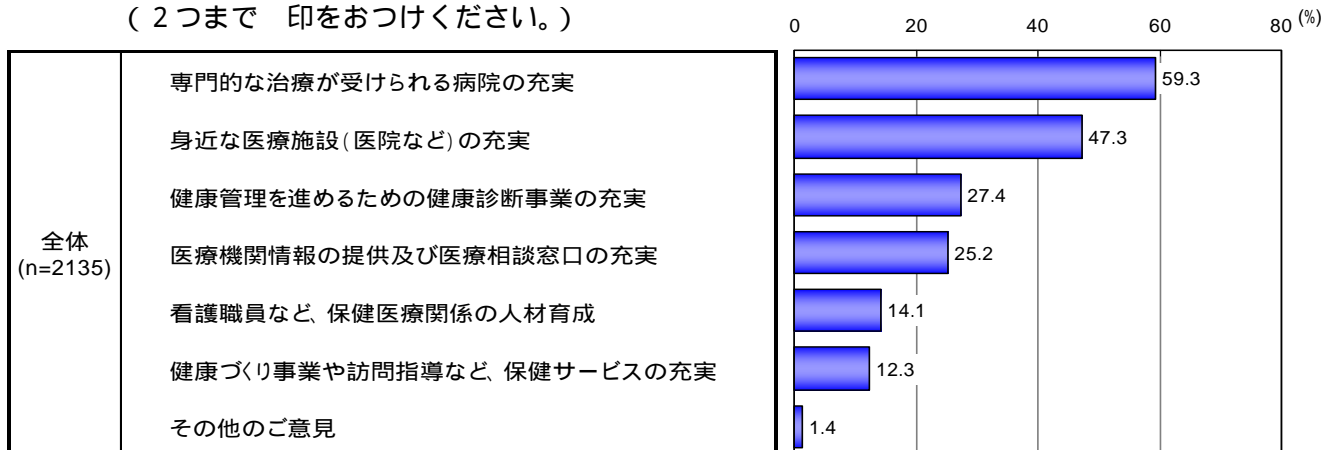
次いで、「地域による見守り体制づくり（防犯パトロール、子ども110番の家）や地域安全マップの作成等の推進」（37.0%）、「子どもの安全・安心の視点から、放課後児童クラブの学校内設置の促進」（35.8%）、「青少年に有害な図書類、がん具、薬物などの規制」（34.2%）、2～4位は拮抗。  
「地域で子どもを育むため、こども会活動の活性化と全員加入の促進」が 21.6%で最少。

【H15 年度調査における上位項目】

（H15 年度調査においては設問設定なし）

## 保健・医療の充実について（問 11）

問 11 あなたは、保健・医療について、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？  
（2つまで 印をおつけください。）



「専門的な治療が受けられる病院の充実」が 59.3%で最多。

次いで、「身近な医療施設（医院など）の充実」（47.3%）、「健康管理を進めるための健康診断事業の充実」（27.4%）（医療機関の充実を求める回答が上位2項目を占める。）

「健康づくり事業や訪問指導など、保健サービスの充実」が 12.3%で最少。

【H15 年度調査における上位3項目】

「専門的な治療が受けられる総合病院の充実」（57.2%）

「身近な医療施設（医院など）の充実」（47.8%）

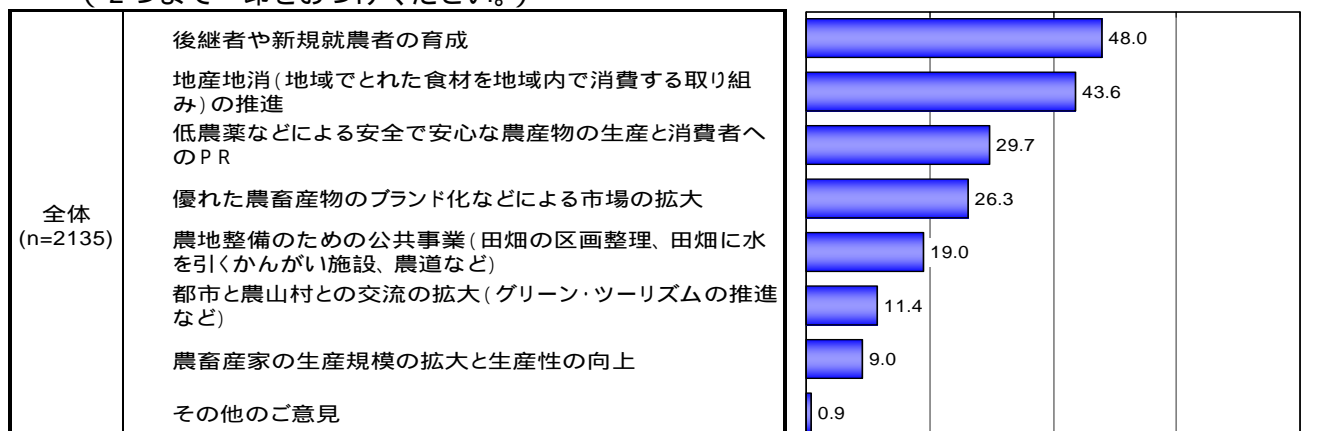
「健康診断体制の充実」（32.9%）

## 農林水産業の振興について（問 12）

### 問 12- 農業の振興について

あなたは、農業の振興のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



「後継者や新規就農者の育成」が48.0%で最多。  
 次いで、「地産地消の推進」（43.6%）、「低農薬などによる安全で安心な農産物の生産と消費者へのPR」（29.7%）。  
 「農畜産家の生産規模の拡大と生産性の向上」が9.0%で最少。

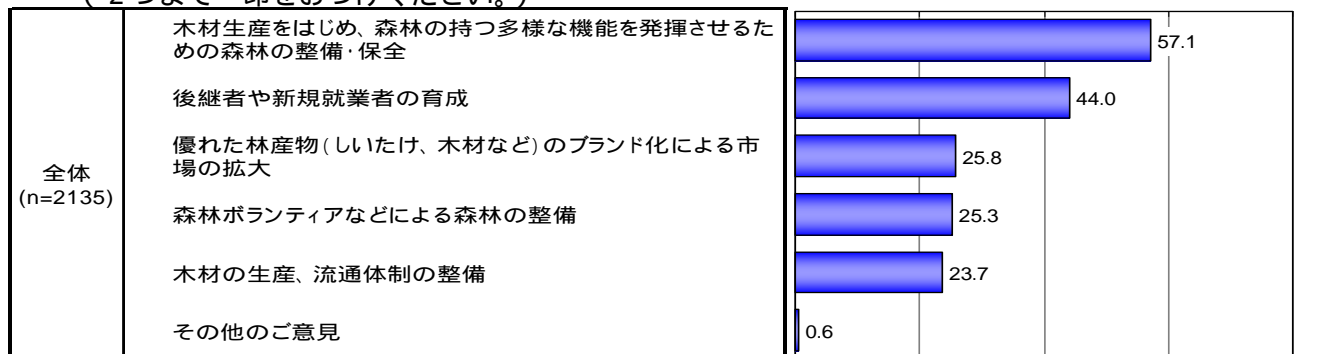
#### 【H15年度調査における上位3項目】

- 「後継者や新規就農者の育成」（53.2%）
- 「地産地消（地域でとれた食材を地域内で消費する取り組み）の推進」（45.5%）
- 「優れた農畜産物のブランド化などによる市場の拡大」（26.8%）

### 問 12- 林業の振興について

あなたは、森林・林業、木材産業振興のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



「木材生産をはじめ、森林の持つ多様な機能を発揮させるための森林の整備・保全」が57.1%で最多。  
 次いで、「後継者や新規就業者の育成」（44.0%）、「優れた林産物（しいたけ、木材など）のブランド化による市場の拡大」（25.8%）。3～5位の項目は25%前後で拮抗。  
 「木材の生産、流通体制の整備」が23.7%で最少。

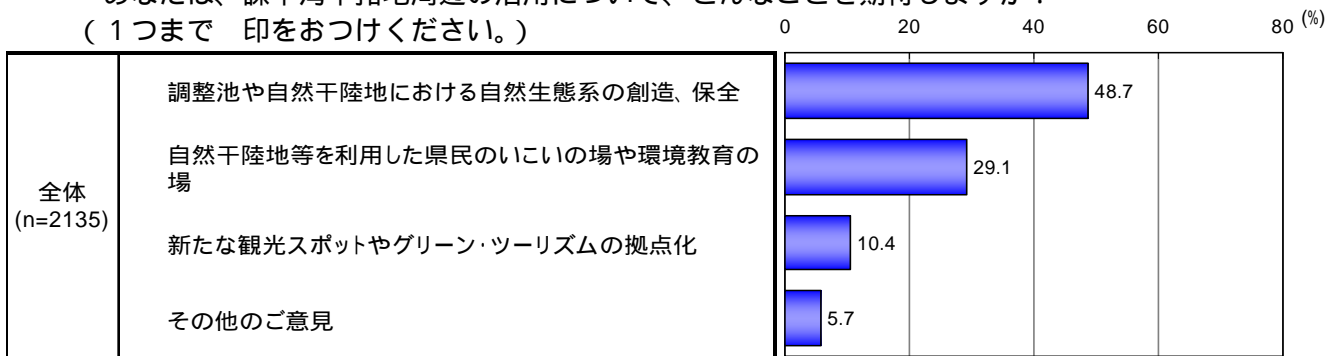
#### 【H15年度調査における上位3項目】

- 「森林の手入れ（間伐、枝打ち）や植林などによる森林資源の管理」（56.2%）
- 「後継者や新規就業者の育成」（40.4%）
- 「森林の水源かん養（水を保つ）機能の保全」（34.0%）



## 問 12- 諫早湾干拓地周辺の活用について

あなたは、諫早湾干拓地周辺の活用について、どんなことを期待しますか？  
(1つまで 印をおつけください。)



「調整池や自然干陸地における自然生態系の創造、保全」が48.7%で最多。  
次いで、「自然干陸地等を利用した県民のいこいの場や環境教育の場」(29.1%)、「新たな観光スポットやグリーン・ツーリズムの拠点化」(10.4%)。

### 【H15年度調査における上位3項目】

- 「新たにつくりだされる自然(調整池の魚介類や水際の植生など)に配慮した整備を図る」(55.4%)
- 「新たな農地(これまで農薬などが使用されたことのない農地)であるという利点を活かして有機農業の生産基地とする」(48.4%)
- 「グリーン・ツーリズムなど観光資源としても活用する」(27.9%)

## 問 12- 水産業の振興について

あなたは、今後、水産業の振興のためには、以下の施策(事業)の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか。  
(2つまで 印をおつけください。)



「稚魚、稚貝の放流や魚礁設置などによる水産資源対策」が49.4%で最多。  
次いで、「漁業の後継者や新規就業者の育成」(35.1%)、「養殖漁業の推進(養殖経営強化の推進、多様な養殖業の展開、安全な養殖水産物の生産)」(21.3%)、「漁船漁業の構造改革(漁船・漁業技術の開発・導入を促進し、低コスト化や労働環境の改善を図ることなど)」(21.3%)。  
「漁港整備などの公共事業」が5.9%で最少。

### 【H15年度調査における上位3項目】

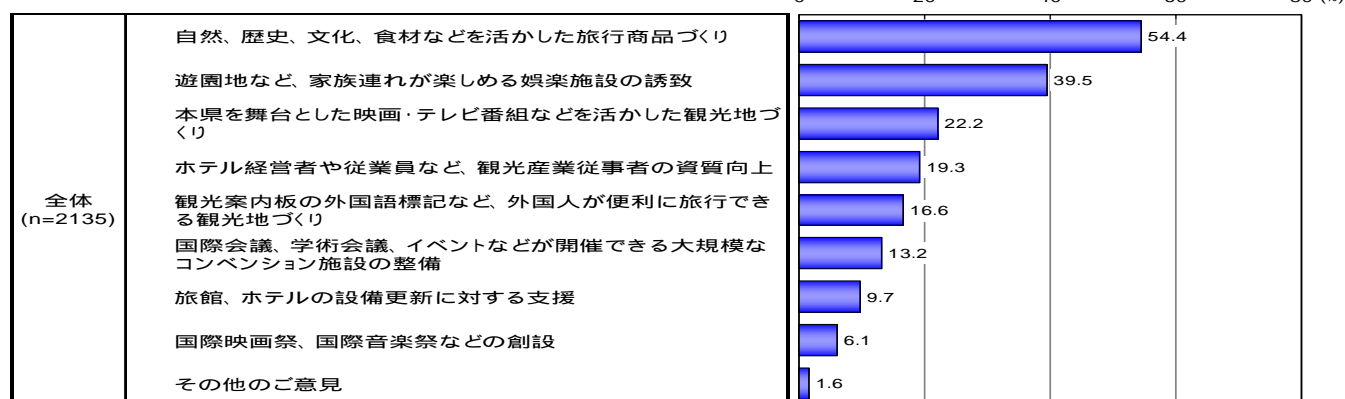
- 「稚魚、稚貝の放流や魚礁の設置などによる水産資源対策」(56.5%)
- 「後継者や新規就業者の育成」(38.3%)
- 「都市と漁村との交流の拡大(ブルー・ツーリズムの推進など)」(17.2%)



## 観光の振興について（問 13）

問 13 あなたは、観光の振興のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



「自然、歴史、文化、食材などを活かした旅行商品づくり」が 54.4%で最多。  
次いで、「遊園地など、家族連れが楽しめる娯楽施設の誘致」(39.5%)、「本県を舞台とした映画・テレビ番組などを活かした観光地づくり」(22.2%)。

「国際映画祭、国際音楽祭などの創設」が 6.1%で最少。

### 【H15 年度調査における上位 3 項目】

（H18 年度調査では、選択肢を見直し）

「各地の優れた自然環境の保護と、それを活かした観光地づくり」(47.3%)

「地元の産物、伝統料理、伝統芸能などを手軽に体験できる観光地づくり」(31.2%)

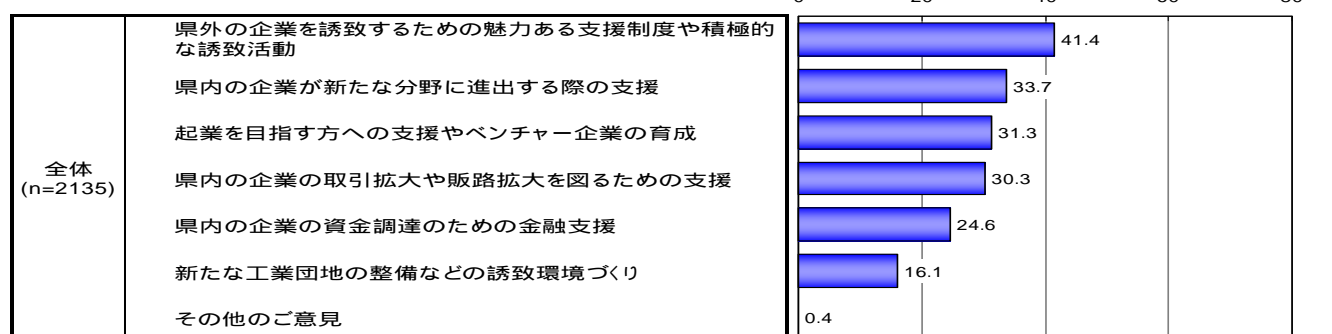
「他県とも協力した広域的な観光ルートづくり」(30.0%)

## 商工業の振興について（問 14）

### 問 14- 工業の振興について

あなたは、工業の振興のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



「県外の企業を誘致するための魅力ある支援制度や積極的な誘致活動」が 41.4%で最多。

次いで、「県内の企業が新たな分野に進出する際の支援」(33.7%)、「起業を目指す方への支援やベンチャー企業の育成」(31.3%)、「県内の企業の取引拡大や販路拡大を図るための支援」(30.3%)であり、2～4位の項目は拮抗。

「新たな工業団地の整備などの誘致環境づくり」が 16.1%で最少。

### 【H15 年度調査における上位 3 項目】

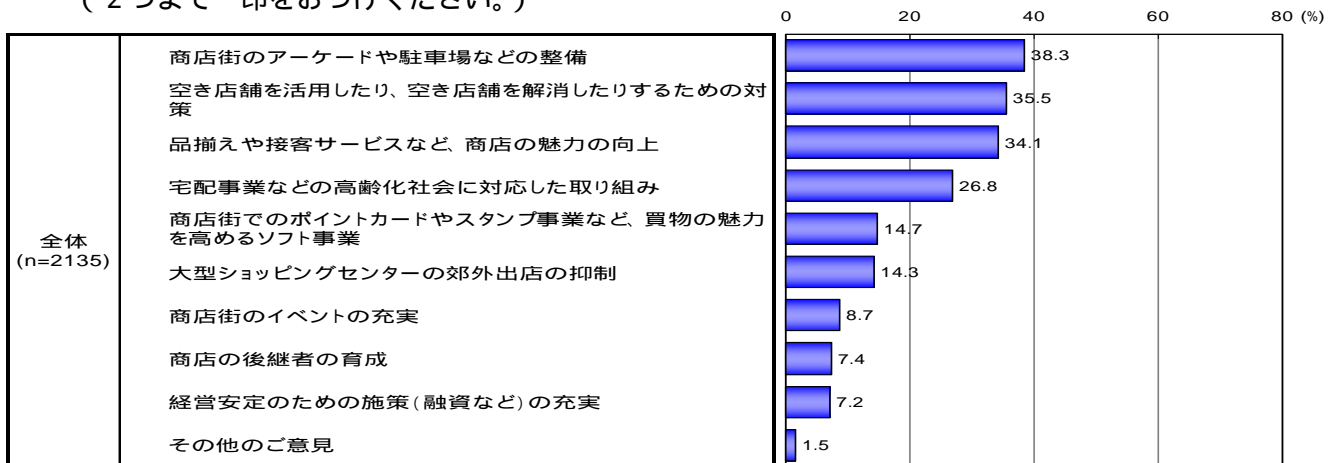
「県内企業の新たな分野進出、技術力向上のための支援」(38.7%)

「企業誘致のための魅力ある支援制度や誘致環境づくり」(38.0%)

「県内企業の販路拡大や経営などの指導・支援」(35.8%)

## 問 14- 商業の振興について

あなたは、商業の振興のためには、どのような取り組みが重要だと思いますか？  
(2つまで 印をおつけください。)



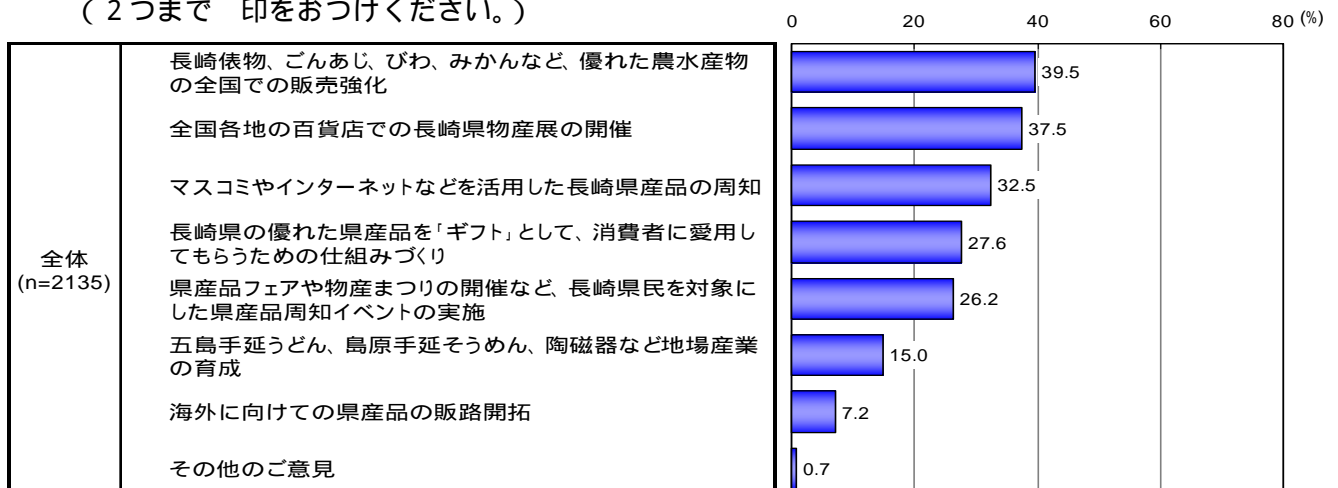
「商店街のアーケードや駐車場の整備」が38.3%で最多。  
次いで、「空き店舗を活用したり、空き店舗を解消したりするための対策」(35.5%)、「品揃えや接客サービスなど、商店の魅力の向上」(34.1%)。上位3項目は拮抗。  
「経営安定のための施策(融資など)の充実」が7.2%で最少。

### 【H15年度調査における上位3項目】

- 「商店街のアーケードや駐車場の整備」(43.4%)
- 「空き店舗を活用したり、空き店舗を解消したりするための対策」(40.0%)
- 「宅配事業などの高齢化社会に対応した取り組み」(28.6%)

## 問 14- 県産品販路開拓について

あなたは、長崎県産品の販路拡大のためには、以下の施策(事業)の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？  
(2つまで 印をおつけください。)



「長崎俵物、ごんあじ、びわ、みかんなど、優れた農水産物の全国での販売強化」が39.5%で最多。  
次いで「全国各地の百貨店での長崎県物産展の開催」(37.5%)、「マスコミやインターネットなどを活用した長崎県産品の周知」(32.5%)。  
「海外に向けての県産品の販路開拓」が7.2%で最少。

### 【H15年度調査における上位項目】

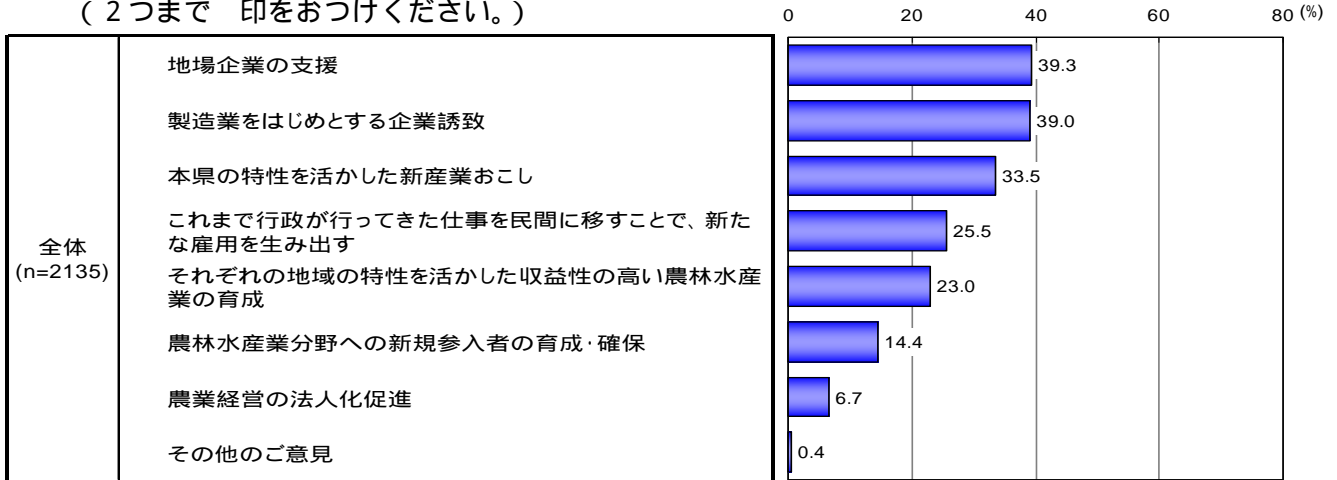
(H15年度調査においては設問設定なし)

## 雇用対策について（問 15）

### 問 15- 雇用の場づくりについて

あなたは、雇用対策について、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



「地場企業の支援」が 39.3% で最多。

次いで、「製造業をはじめとする企業誘致」(39.0%)、「本県の特徴を活かした新産業おこし」(33.5%) 上位 2 項目は拮抗。

「農業経営の法人化促進」が 6.7% で最少。

#### 【H15 年度調査における上位 3 項目】

「企業誘致や新産業の育成などによる雇用の場の拡大」(54.7%)

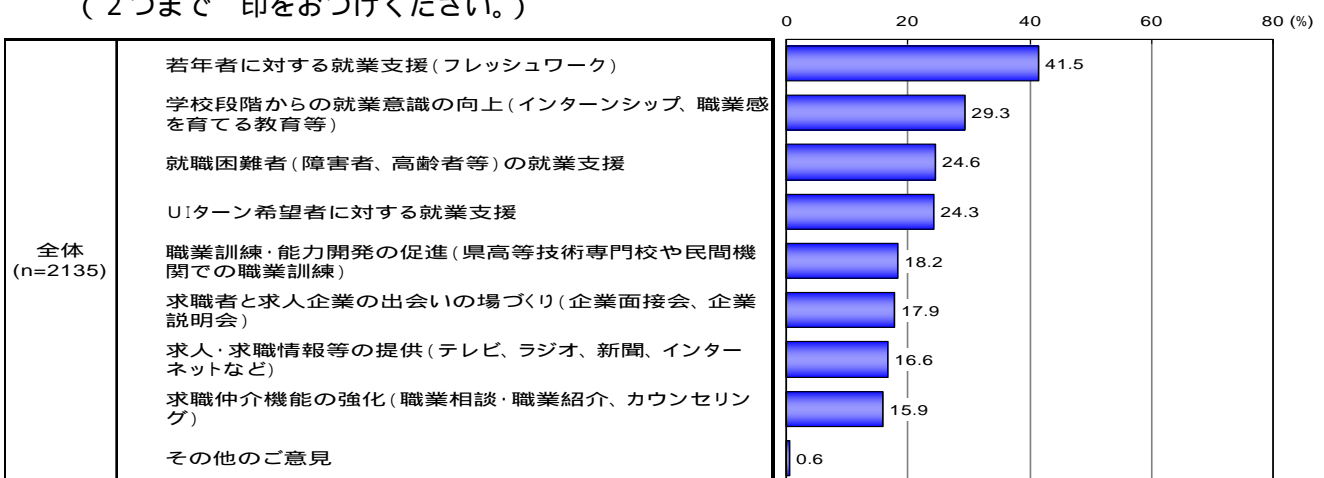
「これまで行政が行ってきた仕事を民間に移すことで、新たな雇用を生み出す」(38.0%)

「ワークシェアリング」(23.8%)

### 問 15- 就業の支援について

あなたは、就業支援について、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？

（2つまで 印をおつけください。）



「若年者に対する就業支援（フレッシュワーク）」が 41.5% で最多。

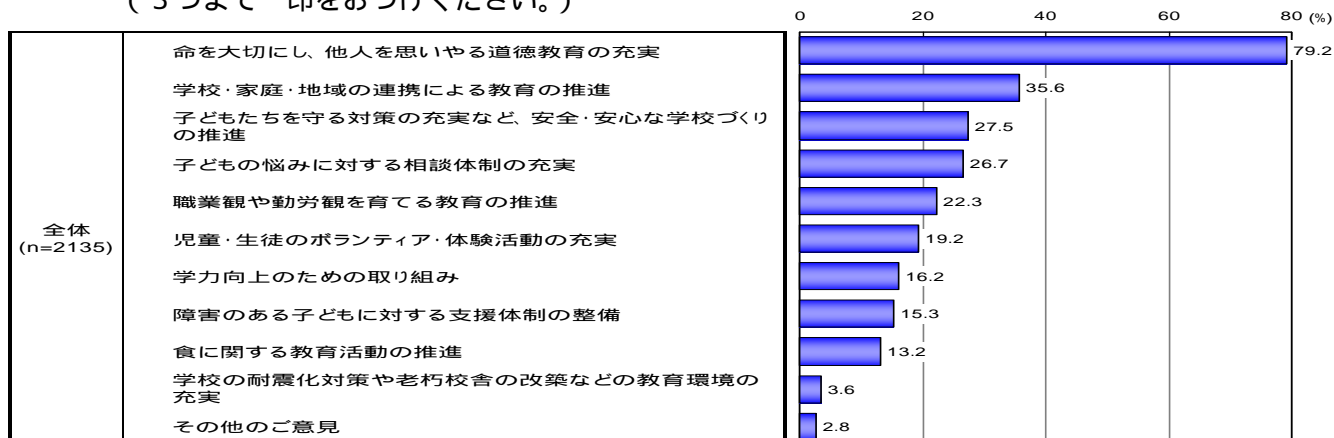
次いで、「学校段階からの就業意識の向上（インターンシップ、職業感を育てる教育等）」(29.3%)、「就職困難者（障害者、高齢者等）の就業支援」(24.6%)。

#### 【H15 年度調査における上位項目】

（H15 年度調査においては設問設定なし）

## 教育の充実について（問 16）

問 16 あなたは、教育のあり方について、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？  
（3つまで 印をおつけください。）



「命を大切にし、他人を思いやる道徳教育の充実」が79.2%で最多で突出している。  
次いで、「学校・家庭・地域の連携による教育の推進」(35.6%)、「子どもたちを守る対策の充実など、安全・安心な学校づくりの推進」(27.5%)  
「学校の耐震化対策や老朽校舎の改築などの教育環境の充実」が3.6%で最少。

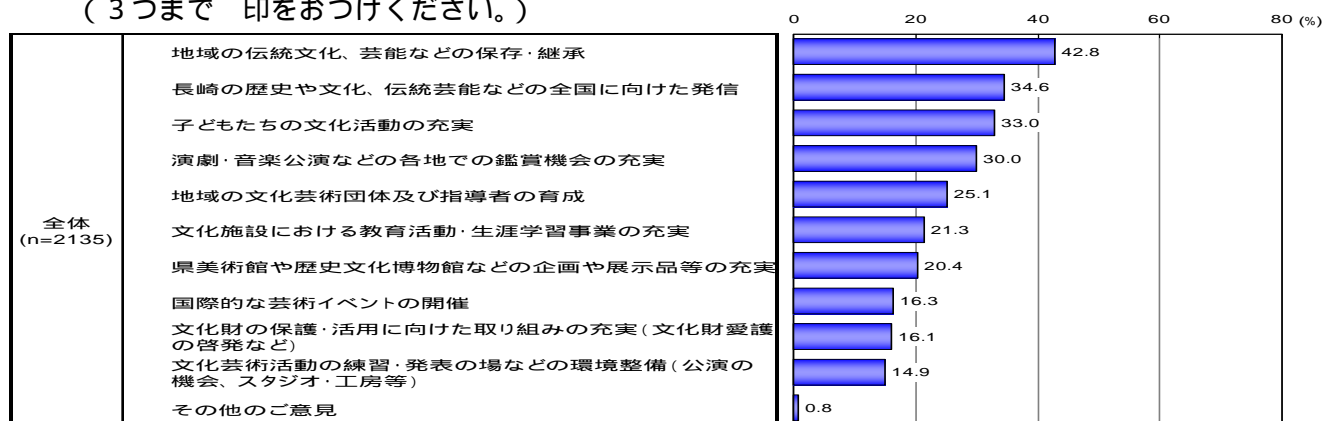
### 【H15 年度調査における上位3項目】

- 「命の大切さと他人を思いやる道徳教育の充実」(65.7%)
- 「地域で活躍する人材の学校教育での活用」(25.1%)
- 「地域が一体となった教育の推進」(23.2%)

## 文化芸術・スポーツの振興について（問 17）

### 問 17- 文化芸術の振興について

あなたは、文化芸術の振興のためには、以下の施策（事業）の中でどれに力を入れていくべきだと思いますか？  
（3つまで 印をおつけください。）



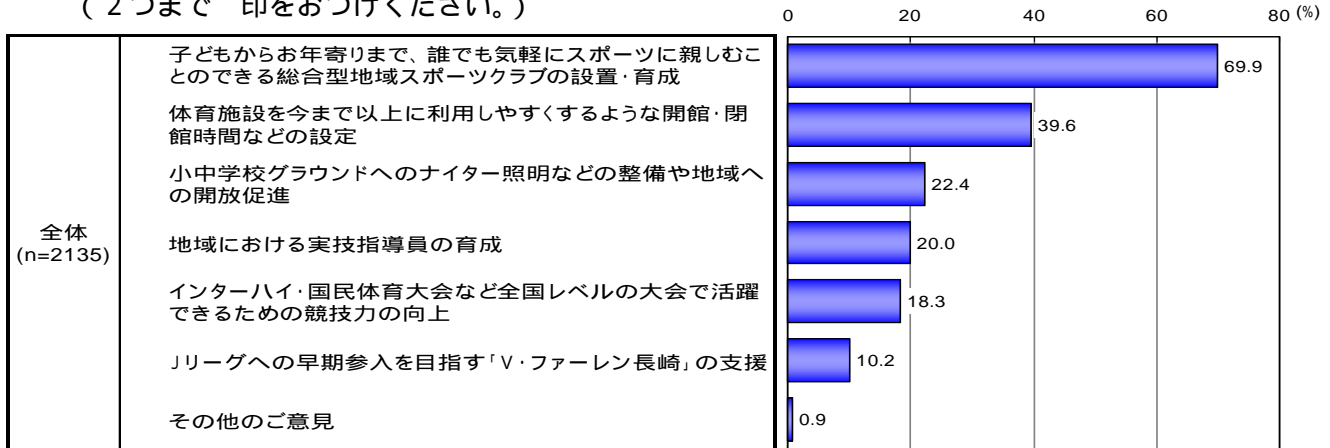
「地域の伝統文化、芸能などの保存・継承」が42.8%で最多。  
次いで、「長崎の歴史や文化、伝統芸能などの全国に向けた発信」(34.6%)、「子どもたちの文化活動の充実」(33.0%)  
「文化芸術活動の練習・発表の場などの環境整備(公演の機会、スタジオ・工房等)」が14.9%で最少。

### 【H15 年度調査における上位3項目】

- 「体育・文化施設を今まで以上に利用しやすくするような開館・閉館時間や休館日などの設定」(38.4%)
- 「ながさきホールネットワークを中心とした、演劇・音楽公演などの各地での開催」(30.9%)
- 「地域の伝統文化、芸能などの保存・継承」(28.6%)

## 問 17- スポーツの振興について

あなたは、スポーツの振興のためには、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？  
（2つまで 印をおつけください。）



「子どもからお年寄りまで、誰でも気軽にスポーツに親しむことのできる総合型地域スポーツクラブの設置・育成」が69.9%で最多で突出している。

次いで、「体育施設を今まで以上に利用しやすくするような開館・閉館時間などの設定」(39.6%)、「小中学校グラウンドへのナイター照明などの整備や地域への開放促進」(22.4%)。

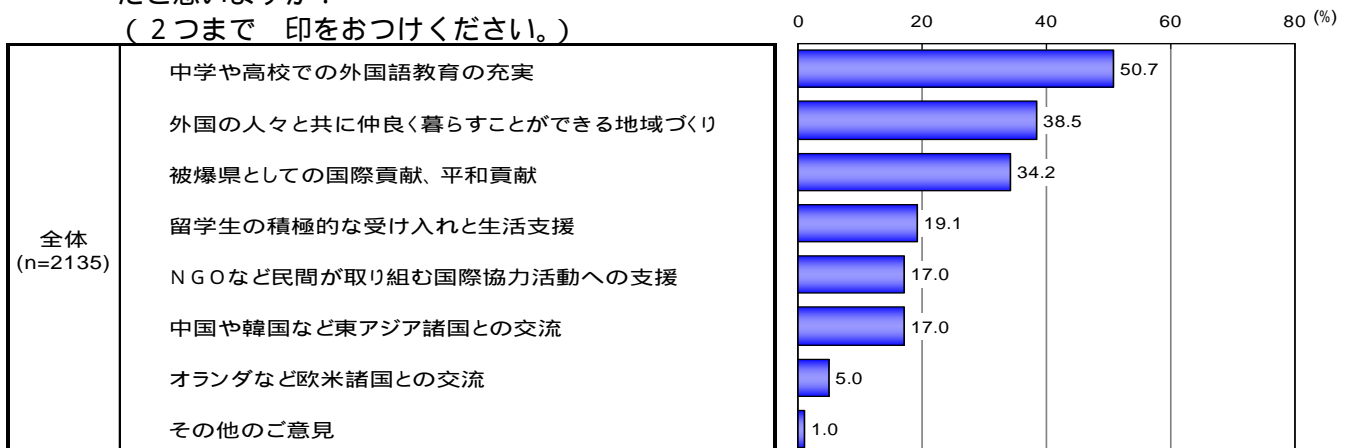
「Jリーグへの早期参入を目指す『V・ファーレン長崎』の支援」が10.2%で最少。

### 【H15 年度調査における上位項目】

H15 年度調査では「文化・スポーツの振興について」の設問の中で、「手軽にスポーツに親しむことのできる地域スポーツクラブの育成」(47.5%)を設けている（7選択肢中、1位）。

## 国際交流の推進について（問 18）

問 18 あなたは、国際交流の推進について、以下の施策（事業）の中で、どれに力を入れていくべきだと思いますか？  
（2つまで 印をおつけください。）



「中学や高校での外国語教育の充実」が50.7%で最多。

次いで、「外国の人々と共に仲良く暮らすことができる地域づくり」(38.5%)、「被爆県としての国際貢献、平和貢献」(34.2%)。

「オランダなど欧米諸国との交流」が5.0%で最少。

### 【H15 年度調査における上位3項目】

「中学や高校での外国語教育の充実」(51.2%)

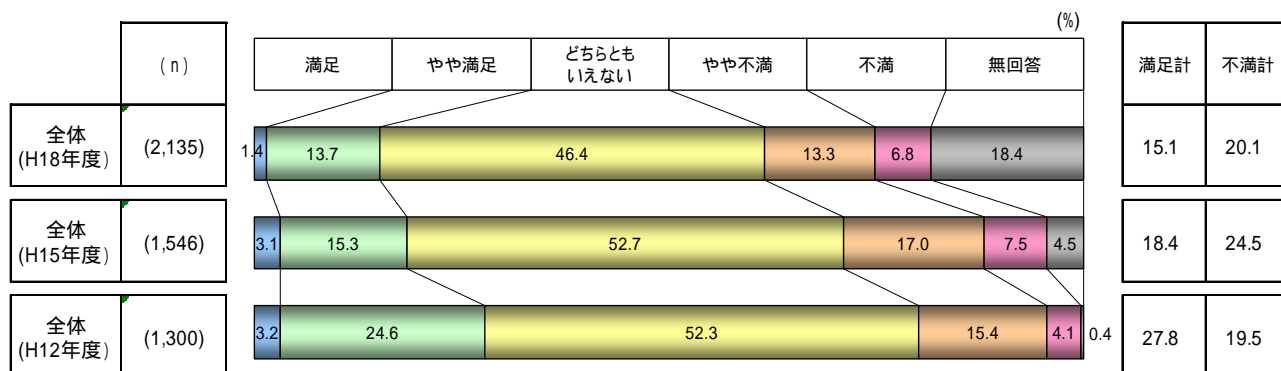
「被爆県としての国際貢献、平和貢献」(41.5%)

「NGOなど民間が取り組む国際協力活動への支援」(25.2%)

### (3) 県の政策への満足度について

#### 県の政策への全体的な満足度について(問1)

(1つ 印をおつけください。)

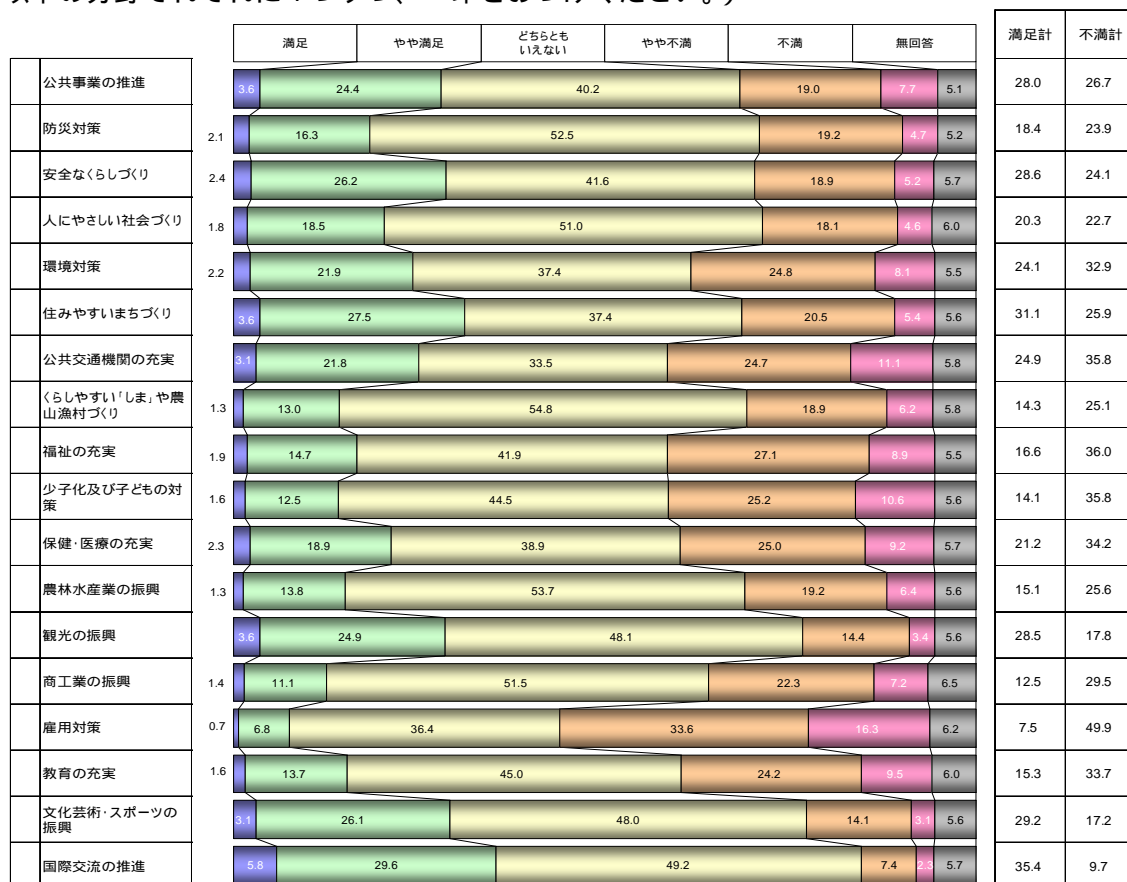


「満足」と「やや満足」の計が 15.1%、「不満」と「やや不満」の計が 20.1%で、不満度が満足度を 5.0 ポイント上回る。

H15 年度、H12 年度の調査結果と比較すると、満足度は低下傾向であり、不満度は、H15 年度と比べて低下している。

#### 県の政策における分野毎の満足度について(問2)

(以下の分野それぞれに1つずつ、 印をおつけください。)



満足度の高い上位3分野は、「国際交流の推進」(35.4%)、「住みやすいまちづくり」(31.1%)、「文化芸術・スポーツの振興」(29.2%)

不満度の高い上位3分野は、「雇用対策」(49.9%)、「福祉の充実」(36.0%)、「公共交通機関の充実」(35.8%)、「少子化及び子どもの対策」(35.8%)